

過去に学び、今に生かし、未来へつなげる（第6学年）

～世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」が教えてくれること～

奈良市立都跡小学校 三木 恵介

1. ESDを生かした授業づくり

(1) 単元名・学校種と学年

「過去に学び、今に生かし、未来へつなげる」

～世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」が教えてくれること～ 小学校 第6学年

(2) 単元の概要

本単元は、2014年に世界文化遺産に登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」を通して、産業の持続性について学びを深めたい。ここでの学びとはまず、かつて日本で栄えた生糸産業の産業構造を学ぶと同時に、なぜ現在、日本で生糸産業が衰退したかを知ることである。そしてその学びを通して、産業を持続していくには何が大切かを考え、現在の産業にも当てはまる点がないかを探求していくことが本単元のESDとしての大きなねらいである。

明治期に入り日本では富国強兵策のもと、外貨獲得のために生糸生産が振興されることとなった。しかし、当時の座繰りによる少量生産では生産の拡大が見込めなかったため、政府は海外からの優れた技術を導入した富岡製糸場を完成させる。明治期の殖産興業として富岡製糸場が生糸産業を支えたことは、どの教科書にも載せられている周知の事実である。

しかし本単元では、日本の生糸産業を支えたのは富岡製糸場だけではないことに注目したい。そもそも生糸産業とは、蚕の卵である蚕種を採取する「蚕種業」、蚕を繭になるまで育てる「養蚕業」、生糸を製造する「製糸業」からなる。この3つの産業が密接にかかわり合い、さらにはその供給に見合う販売や輸出の需要があったからこそ日本の生糸産業は大きな発展を見せたのである。「富岡製糸場と絹産業遺産群」には4つのサイトがあり、「蚕種業」を支えたのが自然の蚕種貯蔵庫である「荒船風穴」であり、「養蚕業」を支えたのが養蚕技術開発・研究を担った「田島弥平旧宅」「高山社跡」であり、「製糸業」を支えたのが「富岡製糸場」なのである。「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産として大きな価値は、この4サイトの密接な関連である。

しかし、日本の生糸産業は、昭和50年代からの化学繊維の普及や安価な中国の生糸の大量輸入によって衰退の一途をたどることとなる。生糸の販売や輸出の低迷は、製糸場の稼働を止め、ついには日本の農村から桑畑の姿が消えていくことになるのである。

日本で養蚕業や製糸業が、かつてのように栄えることはおそらくもうないであろう。しかし、富岡製糸場および日本の生糸産業がなぜ発展し、衰退したのかを知ることによって、私たちは現代の産業にも当てはまる点がないかを考えることができる。【相互性】そして、そこから持続可能な産業のための手掛かりを得ることもできるのではないだろうか。過去に学ぶことで現代の我々の暮らしを見直し、また生かす。【責任性】そしてその学びを未来につなげていくことがESDの役割であると考えられる。



荒船風穴



高山社跡



田島弥平旧宅



富岡製糸場

(3) ESD の視点の明確化

【持続可能な社会づくりの構成概念】

構成概念Ⅱ 相互性…第1次産業から第3次産業までの関連が、地域の産業の持続性にとって重要であること学ぶ。

構成概念Ⅳ 責任性…過去に発展・衰退した産業の事例を通して、現在の産業を見直し、未来へ持続させていくために主体的にかかわっていく。

2. ESD の視点を生かした授業の実践

(1) 単元の目標（重視する能力・態度）

《参加》

世界遺産や生糸産業の発展衰退に興味をもち、産業の持続性について友達と話し合いながら考えることができる。 【関心・意欲・態度】

《未来》

日本の生糸産業の発展・衰退の事例を通して、未来に産業が持続していくためには何が必要かを考え、それを表現することができる。 【思考・判断・表現】

《批判》

グラフや資料を通して、日本生糸産業がなぜ発展・衰退していったのか読み取ることができる。 【技能】




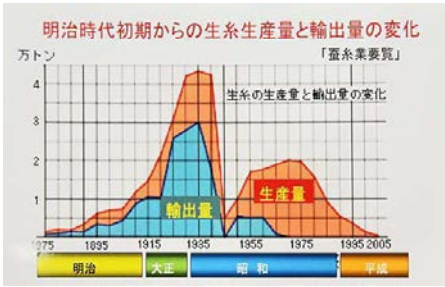
《関連》

地域産業の持続には、第1次産業から第3次産業までの関連が重要であることを理解できる。 【知識・理解】

(2) 評価規準

参加 関心・意欲・態度	未来 思考・判断・表現	批判 技能	関連 知識・理解
①産業の持続性について友達と話し合いながら考えようとする。	① 本の生糸産業の発展・衰退の事例を通して、未来に産業が持続していくために必要なことを考え表現できる	① グラフや資料を通して、日本生糸産業がなぜ発展・衰退していったのか読み取っている。	①地域産業の持続には、第1次産業から第3次産業までの関連が重要であることを理解している。

(3) 単元の計画 (5 時間)

時間	主な学習活動と内容	◇学習への支援 ◆評価
1	<p>社会科の文明開化の単元を学習後…</p> <p>○かつて日本の生糸産業を支えた富岡製糸場について調べる。</p> <div data-bbox="236 488 1433 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どうして「富岡製糸場」だけではなくて、4つの場所が世界遺産に登録されているのだろうか？</p> </div> <p>○4つのサイトが結びつくことで、生糸産業が成り立っていたことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒船風穴 → 蚕種の貯蔵 ・ 田島弥平旧宅 → 清涼育を開発 養蚕家屋の原型 ・ 高山社 → 清温育を開発 養蚕教育機関 ・ 富岡製糸場 → ヨーロッパ技術を導入した 当時世界最大規模の製糸場 	<p style="text-align: center;">◇学習への支援 ◆評価</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">家内制の座繰りから工場制手工業へ</p> <div data-bbox="874 667 1417 1012" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">養蚕から製糸までのプロセスと4遺産群との関連</p> <pre> graph TD subgraph 一次産業 A[蚕種業] --> B[養蚕業] end subgraph 二次産業 B --> C[製糸業] end subgraph 三次産業 C --> D[販売・輸出] end A --> A1[荒船風穴(蚕種を貯蔵)] B --> B1[田島弥平旧宅(清涼育)] B --> B2[高山社(清温育)] C --> C1[富岡製糸場] </pre> <p style="text-align: right; font-weight: bold;">日本製糸業の模範！</p> </div> <p>◇4つのサイトが密接に関連し合っ、生糸産業が成り立っていたことに気付かせる。</p> <p>◇1次産業から3次産業の結びつきにも注目させる。</p> <p>◆「富岡製糸場と絹産業遺産群」の4つのサイトのつながりの重要性に気付くことができる。《関連》</p>
2	<div data-bbox="363 1261 1316 1328" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どうしてかつて栄えた日本の生糸産業は姿を消してしまったのだろうか？</p> </div> <p>○なぜ日本の生糸産業が衰退したのかを考える。</p> <div data-bbox="347 1467 694 1720" style="text-align: center;">  <p>消えた桑畑</p> </div> <p>○日本の生糸産業は、化学繊維の台頭・安価な中国製品の流入で衰退したことを知る。</p>	<p>◇現在日本の景色から桑畑が消えていることにも触れる。</p> <p>◇グラフをもとに考えさせたり、今自分たちが身に着けている衣服の原材料をもとに考えたりさせる。</p> <div data-bbox="954 1585 1401 1870" style="text-align: center;">  <p>明治時代初期からの生糸生産量と輸出量の変化 「蚕糸業要覧」</p> <p>生糸の生産量と輸出量の変化</p> <p>輸出量 (青い線)</p> <p>生産量 (赤い線)</p> <p>1975 1895 1915 1935 1955 1975 1995 2005</p> <p>明治 大正 昭和 平成</p> </div> <p style="text-align: center;">【蚕糸業要覧】</p> <p>◆生糸産業が衰退した理由を考えることができる。《批判》</p>

<p>3</p>	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 産業が持続していくには、何が大切なのだろうか？ </div> <p>○日本の生糸産業の発展と衰退の歴史からどうして生糸産業が衰退していったかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蚕種から蚕を育てる○（1次産業） ・ 蚕の繭を糸にする○（2次産業） ・ 糸を販売・輸入する×（3次産業） <p>○</p>	<p>◇「富岡製糸場と絹産業遺産群」は4つのサイトと海外との貿易が密接に関連しあってこそその発展であることをおさえる。</p> <p>◇1次産業や2次産業が衰退したり、輸入に頼ったりした場合も考えさせる。</p> <p>◆産業が持続していくために、何が大切かを考え、その理由を理解することができる。 《未来》</p>
<p>4</p>	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 生糸産業の発展と衰退を参考に、現代の産業を見つめてみよう </div> <p>○現在の日本の産業を見つめてみて、持続可能か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 斜陽産業といわれる林業 <p>○国内の高価格な木材にニーズがないことを理解する。</p>	<p>◇1次～3次産業のどの面に課題があるかをしっかりととらえさせる。</p> <p>◇日本の林業は、海外の安価な木材の輸入に頼っているため国内の生産量が上がらないことをつかませる。</p>
<p>5</p>	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 林業が持続していくためには何ができるかを考えよう。 </div> <p>○ニーズを生み出すための工夫や努力について意見を出し合う。</p> <p>○考えたことを発表し合う。</p>	<p>◇ニーズを生み出すための工夫や努力について、キーワードを適宜出していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅 ・ 家具 ・ 間伐材の利用 ・ 燃料 ・ 消臭効果 <p>◆考えたことを分かりやすく伝えることができる。《参加》</p>